夏の恒例行事である“彩の国男声コーラスフェスティバル 2015”に出演する

今年の“おとうさんコーラス大会”は、2015 年 8 月 2 日(日)、「第 26 回関東おとうさんコーラス大会 in かわぐち」「彩の国男声コーラスフェスティバル 2015」(以下、大会)という名称で開催された。
(会場は、川口総合文化センター リリア。前者は、全日本合唱連関東支部が主催し、後者は、埼玉県合唱連盟が主催しているものを共同開催した)

ご存知のとおり、第 1 回「おとうさんコーラス大会」は、1990 年(平成 2 年)8 月、サッポロビール 川口工場で開催された。昨年同様、発祥の地川口市で今年も開催された。
(志木グリークラブは、第 3 回から今回まで連続出演している)

大会は、12 時開演し、全員で“いざ起て戦人よ”“ふるさと”を歌った後、各団体の演奏に入った。
(1部は、各団体の演奏。2部は、会場を 1F に移して、待望の飲んで歌えの懇親会で盛り上がった)

私たちは、矢澤千宜先生の指揮で、“Bundesleid”と“Matona mia cara”の 2 曲を演奏した。
(30 団体中 2 番目に演奏。11 名参加。詳細は、別表参照)

1 曲目は、“Bundesleid”(作曲;W.A.Mozart)である。
(1 番は、ドイツ語の歌詞で歌い、2 番は、日本語の歌詞で歌った)
歌詞は、

Brüder reicht die Hand zum Bunde!
Diese schöne Feier stunde
führ uns hin zu lichten Höh'n!
Lasst was irdischist entfliehen
unsrer Freundschaft Harmonien
dauern ewig fest und schön!
dauern ewig fest und schön!
友よいざ友よ　手をばさしのべよ
我らみなともに　麗しく結すばん
誓い固く結すばん　光を抱きて
とこしえまでも　(訳詞;夏目利江)

#この曲は、モーツアルトが何歳の頃作曲したのか分かりませんが、以前から、男声合唱で、歌われている曲である。Moderato のテンポで歌うが、矢澤先生は、4 小節単位で曲想を捉え、その中で強弱の山を作るよう指導されたが、果たして、そのように歌えたのかチョット自信がない。また、ドイツ語の曲を日本語で歌うと、曲が持つ本来の良さが表現できないことが、多々あると思う。

2 曲目は、“Matona mia cara”(作曲;O.di ラッソ、編曲;福永陽一郎)を歌った。
この曲は、よく知られているように、16 世紀世俗曲を代表するマドリガルである。
歌っている内容は、イタリアにやって来た武骨なドイツ兵士が、拙いドイツ語訛りのイタリア語で Matona =マドンナ即ち憧れの人に必死に愛を伝えようとするのだが、どうしてもドイツ語訛りになってしまっているという歌詞である。歌詞は、5 番まであり、武骨で荒々しい兵士が、一生懸命愛を告白するユーモラスな歌詞とメロディで、世界中で以前から歌われている。

1 番の歌詞は、Matona mia cara Matona mia cara mi follere canzon
Cantar sotto finestra Lantze buon compagnon
Don don don diri diri don don don・・・・・
(和訳)
俺の愛しのﾏﾄﾅ　俺の歌を聴いてくれよ
窓辺で歌うﾄﾞｲﾂ兵　ﾁｮｯﾄ良い男じゃないかい？
ﾄﾞﾝﾄﾞﾝﾄﾞｰﾝ　ﾃﾞｨﾘﾃﾞｨﾘﾄﾞｯﾄﾞｰﾝﾄﾞﾝﾄﾞﾝ　ﾄﾞﾝﾄﾞﾝﾄﾞｰﾝ　ﾃﾞｨﾘﾃﾞｨﾘﾄﾞｯﾄﾞｰﾝﾄﾞﾝﾄﾞﾝ

この曲の特徴は、ﾏﾝﾄﾞﾘﾝの音を模したという「Don don don diri diri don don don・・・」の繰り返しであろう。曲に弾みをつけ、ﾊｷﾞﾚの良さが求められる。

この曲を聴衆の皆さんに聴いていただくﾚﾍﾞﾙまで仕上げるには、相当苦労した。まず、歌詞がｲﾀﾘｱ語であることから、発音から勉強しなければならない。ｲﾀﾘｱ語は、ローマ字読みで良いから、と言われたが、正確に発音しなければ曲にならない。また、曲想についても、ｸﾞﾘｰｸﾗﾌﾞｱﾙﾊﾞﾑの CD とか You-Tube で他の合唱団やｶﾙﾃｯﾄが歌っているのを聴いて参考にした。
「Don don don diri diri don don don・・・」のところは、p 又は pp で軽やかに歌っている。

ここで、大会までの練習の経緯を振り返ってみよう。4月上旬、選曲の打合せを行い、日本語の組曲、外国語の曲、日本民謡、今まで何度も歌った曲等々10 数曲を候補曲にﾘｽﾁｱｯﾌﾟした。
日本語の曲の方がとっつき易いく歌詞の意味も分かるが、それだけに曲作りが難しい面もある。
結局、矢澤先生と相談し、今回の 2 曲になった。皮肉なことに、外国語の曲は、発音が揃い難く、我がｸﾞﾘｰｸﾗﾌﾞにとっては、不得手なｼﾞｬﾝﾙの曲である。しかも、“Matona mia cara”は、ｲﾀﾘｱ語で、少し砕けた曲想の曲である。そこから、苦難の練習が始まった。

当日ｽﾃｰｼﾞで演奏するまでの行動は、9 時 30 分過ぎに会場に着いたが、声出しをする場所が無い。
やっと、総合文化センター外の簡易ｽﾃｰｼﾞ前に練習場所を見つけたが、数分間声出しをした頃、
ｶﾞｰﾄﾞﾏﾝに追い出された。(猛暑が続いており、歌う前に熱中症にでもなったら、大変なことになるのだが)
ｶﾞｰﾄﾞﾏﾝに階段上の公園の木陰はどうですかと言われ、仕方なくそちらに移動し、
2、3 回練習した後、10 時 19 分から、5 分間ｽﾃｰｼﾞﾘﾊｰｻﾙを行い、並び方と響きを確認し、本番に備えた。
(ﾁｮｯﾄ、事前練習が少く不安であったが、本番に強いｸﾞﾘｰを信じて、本番に臨んだ)

予定より、少し早く 16 時前に 1 部が終わり、いよいよ楽しみな 2 部（懇親会）が、会場を1階に移して始まった。今年は、事前に、数ｸﾞﾙｰﾌﾟに参加団体をｸﾞﾙｰﾌﾟ別けし、歌う曲も決められていた。
歌った曲は、“最上川舟歌”“秋のﾋﾟｴﾛ”“柳河”“斎太郎節”“里の秋”“U　BOJ”“ふるさと”“雨”
“見上げてごらん夜の星を”　女声合唱で“花”“夏の思い出”最後に“大地讃頌”である。
毎年、ｱﾙｺｰﾙが入った勢いで、大声で歌い喉がｶﾞﾗｶﾞﾗになるので、今年は抑え気味にしようと思いながら、いつものように大声で歌ってしまった。

今年は、高校生合唱団が3団体(千葉県立千葉工業高校、八千代松陰高校合唱部、埼玉県高等学校男声合同合唱団)出場しており、どの高校甲乙つけ難く、纏まった良い演奏を聴かせてくれた。

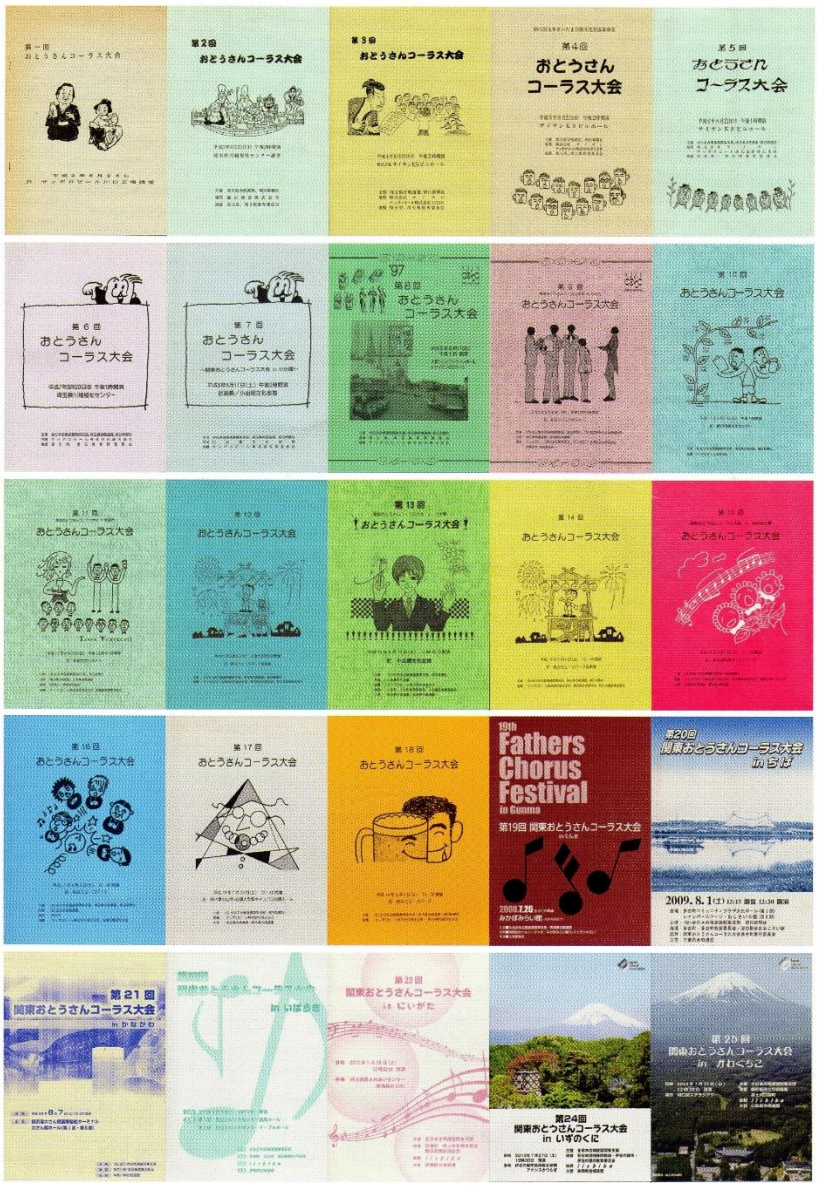
来年からは、「彩の国男声ｺｰﾗｽﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ」を発展させ、関東各県から参加をさせる形式で開催されるとの予告があった。

出演団体と演奏曲は、以下のとおり。（出演順）

	団体名	演奏曲
1	ﾒﾝﾈﾙｺｰﾙありの実(埼玉県)	・ともしび　・箱根八里
2	志木ｸﾞﾘｰｸﾗﾌﾞ(埼玉県)	・Bundeslied　・Matona mia cara
3	ﾒﾝﾈﾙｺｰﾙJOY（群馬県）	・故郷　・黒田節
4	ｱﾝｻﾝﾌﾞﾙ・ﾄﾞ・ｲﾓ（茨城県）	・寿限無の嘆き
5	千葉県立千葉工業高校（千葉県）	・組曲「ｱｲﾇのｳﾎﾟﾎﾟ」より、くじら祭り ・男声合唱ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝ「日本民謡」より、八木節
6	しなのｸﾞﾘｰｸﾗﾌﾞ（新潟県）	・ﾊﾞｲｶﾙ湖のほとり　・箱根八里
7	男声合唱団ﾒﾝﾈﾙA. E. C.（埼玉県）	・男声合唱組曲「父のいる庭」より、早春、紀の国
8	ｸﾞﾘｰ梨声（神奈川県）	・男声合唱組曲「尾崎喜八の詩から・第三」より、安曇野
9	うたごえ男声専科“Goodday Papa”(埼玉県)	・学生街の喫茶店　・The Water is Wide
10	北総ｴｺｰ(千葉県)	・北総ｴｺｰ団歌 ・男声合唱組曲「父のいる庭」より、紀の国
11	飯能ﾌｫﾚｽﾄｺｰﾙ(埼玉県)	・里の秋　・村の教会　・ｽﾃﾝｶ・ﾗｰｼﾞﾝ
12	洋光台ﾒﾝﾈﾙ・ｺｰﾙ(神奈川県)	・埴生の宿　・I‘ve got Six Pence
13	男声あんさんぶる「ﾎﾟﾊﾟｲ」(埼玉県)	・男声合唱組曲「中勘助の詩から」より、かもめ ・合唱のためのｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝ第 3 番より、艪
14	Peach Boys(山梨県)	・ふるさと　・男声合唱組曲「雨」より、雨の来る前
15	男声合唱ﾊｹﾞﾏｽ会(埼玉県)	・旅立ちの日に(男声版)
16	男声合唱団ｺｰﾙﾍﾞｱｰ(山梨県)	・Lord want to a Christian ・男声合唱組曲「雨」より、Ｖ雨の日に見る
17	多古男声合唱団おろち(千葉県)	・いざ！歌わん　・男声合唱組曲「秋の歌」より、秋の夜 ・春の小川　・銚子大漁節
18	所沢ﾒﾝﾈﾙｺｰﾙ(埼玉県)	・男声合唱組曲「雪明りの路」より、春を待つ　月夜を歩く
19	お父さんｺｰﾗｽ「ﾍﾟﾍﾟ」(茨城県)	・夢見たものは　・斎太郎節
20	男声合唱団 ｺｰﾙ・ｸﾞﾗﾝﾂ(埼玉県)	・アカシアの径　・秩父音頭
21	常磐ひたちﾒﾝﾈﾙｺｰﾙ(茨城県)	・ﾌﾗﾝﾂ・ｼｭｰﾍﾞﾙﾄ「ﾄﾞｲﾂ・ﾐｻ曲」より、 聖変化の後で　終祭の歌
22	男声合唱いず(静岡県)	・。Bushes and Briers　・めざめ
23	益荒男ｸﾞﾘｰｸﾗﾌﾞ(埼玉県)	・無伴奏男声組曲「今でも・・ローセキは魔法の杖」より、 深い眠りに包まれて
24	八千代松陰高校合唱部	・草野心平の詩より、石家荘にて　・ゆりとﾊﾞﾗの花
25	静岡男声合唱団(静岡県)	・民謡ﾒﾄﾞﾚｰ こんぴらふねふね おてもやん 島唄
26	村上ｸﾞﾘｰｸﾗﾌﾞ(新潟県)	・時代
27	MC ﾒﾝﾈﾙｺｰﾙ(群馬県)	・Ständchen　・ふるさと
28	男声合唱団ｱｳﾙｽﾞ(栃木県)	・「ｹﾞﾄﾞ戦記」より、テルーの唄 ・「天空の城ﾗﾋﾟｭﾀ」より、君をのせて
29	Il Campanile(埼玉県)	・「柳河風俗詩」より、紺屋のおろく かきつばた ・E’vrytime I Feel The Spirit
30	埼玉県高等学校男声合同合唱団(埼玉県)	・男声合唱組曲「富士山」より、 Ⅱ作品 第肆 Ⅴ作品 第貳拾壹

Japan Choral Association Kanto

第26回 関東おとうさんコーラス大会 in かわぐち
彩の国男声コーラスフェスティバル2015



2015年8月2日（日）12:00開演　川口総合文化センター リリア

主催　全日本合唱連盟関東支部
後援　朝日新聞さいたま総局・埼玉県・埼玉県教育委員会
　　川口市・川口市教育委員会

協賛　iichiko
主管　埼玉県合唱連盟

プログラム表紙